

# 「インフォームド・コンセントの医療者への負荷の実態に関する検討(IC Study)」データ集

内科系学会社会保険連合「説明と同意」委員会

平成29年5月



一般社団法人 内科系学会社会保険連合

Social Insurance Union of Societies Related to Internal Medicine

# 「インフォームド・コンセントの医療者への負荷の実態に関する検討（IC Study）」データ集

内科系学会社会保険連合「説明と同意」委員会

平成 29 年 5 月

## Table of Contents

1. IC 手続項目別（領域別）データ回収結果.....	10
1-1. 医師記入票件数.....	10
1-2. 患者記入票件数.....	11
1-3. 診療科調査票の回収率.....	12
2. IC 手続項目別（領域別）の記述統計.....	13
○医師記入票.....	13
2-1. （問 2）説明日の構成割合.....	13
2-2. （問 3-1）患者の年齢層の構成割合.....	14
2-3. （問 3-2）患者の性別の構成割合.....	15
2-4. （問 3-3-1）入院、入院外患者の構成割合（説明時点）.....	16
2-5. （問 3-3-2）入院、入院外患者の構成割合（治療・検査時点）.....	17
2-6. （問 3-4）急変状態有無別患者の構成割合.....	18
2-7. （問 4-2）説明した項目の割合.....	19
2-8. （問 4-3）がん患者指導管理料（1～3）の算定有無別構成割合.....	20
2-9. （問 5-1）説明準備に要した延べ時間の分布.....	21
2-10. （問 5-2）直接説明実時間の分布（説明終了時刻－説明開始時刻）... ..	22
2-11. （問 5-3）IC 手続き後の処理に係る延べ時間の分布.....	23
2-12. （問 5-5）説明に係る勤務時間外の延べ時間の分布.....	24

2-13.	(問 5) IC 手続きに係る人件費の状況.....	25
2-14.	(問 6-1～6-7) 説明を受けた患者側関係者の種類および割合.....	26
2-15.	(問 6-8) 説明を受けた患者側の人数の構成割合.....	27
2-16.	(問 7) 補助説明を行った病院職員の割合.....	28
2-17.	(問 7-2) 補助説明に従事した看護師の主な資格.....	29
2-18.	(問 7-4) 補助説明者の人数の構成割合.....	30
2-19.	(問 8) IC 手続き実施者もしくは補助説明者以外で IC 手続きに関わった職員の職種および割合.....	31
2-20.	(問 9) 説明場所の構成割合.....	32
2-21.	(問 10) 同意書取得有無別の構成割合.....	33
2-22.	(問 11) 文書・資料による説明の有無別構成割合.....	34
2-23.	(問 12) 個別文書・資料作成の有無別構成割合.....	35
2-24.	(問 13) IC 手続き実施者の総合負荷.....	36
2-25.	(問 13) IC 手続き実施者の難易度.....	37
○患者記入票.....		38
2-26.	(問 1) ご回答いただいた方はどなたか.....	38
2-27.	(問 2) 患者の心身の状態.....	39
2-28.	(問 3) 本日受けた説明についての感想 (患者満足度).....	44
2-29.	(問 4) 検査や治療方針を選択するにあたり説明が役に立ったか.....	45
2-30.	(問 5-1) 説明を受けた時間の分布.....	46
2-31.	(問 5-2) 説明の時間は適切だったか.....	47
2-32.	(問 5-2) 説明の時間は適切だったかについて、「その他」と回答した患者の記載内容 (自由記載欄).....	48
2-33.	(問 6) 説明はよくわかったか (理解度).....	49

2-34.	(問 7) 質問・意見を十分に伝えられたか .....	50
2-35.	(問 7) 質問・意見を十分に伝えられなかったと回答した症例について、「理由」の記載内容 (自由記入欄) .....	51
2-36.	(問 8-1) 説明を担当した病院職員の職種別割合 .....	53
2-37.	(問 8-1) 説明を担当した職種として、「その他」の記載内容 .....	54
2-38.	(問 8-2) 説明を受けたかった職種別割合 .....	55
2-39.	(問 8-2) 説明を受けたかった職種として、「その他」の記載内容 .....	56
2-40.	(問 9) 言葉遣いは適切だったか .....	57
2-41.	(問 9) 「適切でない」と感じた場合、どのようなところが適切でなかったか (自由記入欄) .....	58
2-42.	(問 10) 気持ちに配慮されていたか .....	59
2-43.	(問 11) 説明を受けた検査や治療方針に対し、同意したか .....	60
2-44.	(問 12) ご回答いただいた方が最後に卒業された学校 .....	61
○	診療科調査票 .....	62
2-45.	(問 1) 調査を実施した診療科の割合 .....	62
2-46.	(問 2) IC 手続き実施者の臨床経験年数 .....	63
2-47.	(問 2) IC 手続き実施者の性別 .....	65
2-48.	(問 2) 症例数に占める各専門医の割合 .....	66
2-49.	(問 3) 承諾していただいた患者の割合 .....	67
2-50.	(問 4) IC 手続き支援ツール活用の割合 .....	68
2-51.	(問 4) IC 手続き支援ツール活用の有無 (自由記入欄) .....	69
2-52.	(問 5) IC 手続き実施ルールの有無についての構成割合 .....	71
2-53.	(問 5) IC 手続き実施ルールの有無について (自由記入欄) .....	72
2-54.	(問 6) 今後内保連で取り組んでほしいこと (自由記入欄) .....	74

2- 【参考】 本分析で用いた各専門医の略称一覧.....	76
3. アウトカムに関する分析.....	78
3-1. 直接説明実時間.....	78
(ア) IC 手続項目との関係.....	78
(イ) 患者の年齢との関係.....	79
(ウ) 患者の性別との関係.....	84
(エ) 入院・入院外の別（説明時点）との関係.....	84
(オ) 入院・入院外の別（検査・治療時点）との関係.....	85
(カ) 急変状態の有無（説明時点）との関係.....	85
(キ) 説明した項目の有無との関係.....	86
(ク) がん患者指導管理料の算定状況との関係.....	87
(ケ) 説明を受けた患者側人数との関係.....	89
(コ) 補助説明者の人数との関係.....	89
(サ) 同意書の取得の有無との関係.....	91
(シ) 文書・資料による説明との関係.....	91
(ス) 個別文書・資料による説明との関係.....	92
(セ) 説明準備に要する延べ時間との関係.....	92
(ソ) IC 手続後の処理に係る延べ時間との関係.....	93
(タ) 難易度との関係.....	93
(チ) 患者の心身の状態（からだの苦痛がある）との関係.....	98
(ツ) 患者の心身の状態（からだの痛みがある）との関係.....	98
(テ) 患者の心身の状態（気持ちがつらい）との関係.....	99
(ト) 患者の心身の状態（歩くのが大変だ）との関係.....	99

(ナ) 患者の心身の状態（身の回りのことをするのに介助が必要だ）との関係 .....	100
(ニ) 「説明を受けた時間」（患者記入票）との関係 .....	101
(ヌ) 回答者が最後に卒業した学校との関係 .....	102
(ネ) 医師の性別との関係 .....	102
(ノ) 医師の経験年数との関係 .....	103
(ハ) IC 手続き支援ツールの活用との関係 .....	103
(ヒ) IC 手続き実施ルールの有無との関係 .....	104
(フ) 多変量解析 .....	105
(ヘ) 予備調査における各学会の評価（エキスパートオピニオン）との関係 .....	107
3-2. 総合負荷 .....	108
(ア) IC 手続項目との関係 .....	108
(イ) 患者の年齢との関係 .....	109
(ウ) 患者の性別との関係 .....	110
(エ) 入院・入院外の別（説明時点）との関係 .....	110
(オ) 入院・入院外の別（検査・治療時点）との関係 .....	111
(カ) 急変状態の有無（説明時点）との関係 .....	111
(キ) 説明した項目の有無との関係 .....	113
(ク) がん患者指導管理料の算定状況との関係 .....	114
(ケ) 説明を受けた患者側人数との関係 .....	114
(コ) 補助説明者の人数との関係 .....	115
(サ) 同意書の取得の有無との関係 .....	115
(シ) 文書・資料による説明との関係 .....	116
(ス) 個別文書・資料による説明との関係 .....	116

(セ) 説明準備に要する延べ時間との関係.....	117
(ソ) 直接説明実時間との関係.....	117
(タ) IC 手続後の処理に係る延べ時間との関係 .....	123
(チ) 説明に係る勤務時間外の延べ時間との関係 .....	123
(ツ) 難易度との関係.....	124
(テ) 患者の心身の状態（からだの苦痛がある）との関係 .....	131
(ト) 患者の心身の状態（からだの痛みがある）との関係 .....	131
(ナ) 患者の心身の状態（気持ちがつらい）との関係.....	132
(ニ) 患者の心身の状態（歩くのが大変だ）との関係.....	132
(ヌ) 患者の心身の状態（身の回りのことをするのに介助が必要だ）との関係 .....	133
(ネ) 患者満足度との関係.....	133
(ノ) 治療方針選択に役に立ったか否かとの関係 .....	134
(ハ) 患者の理解度との関係 .....	134
(ヒ) 回答者が最後に卒業した学校との関係.....	135
(フ) 医師の性別との関係.....	135
(ヘ) 医師の経験年数との関係.....	136
(ホ) IC 手続き支援ツールの活用との関係.....	136
(マ) IC 手続き実施ルールの有無との関係.....	137
(ミ) 多変量解析 .....	138
3-3. 難易度 .....	140
(ア) IC 手続項目との関係 .....	140
(イ) 患者の年齢との関係 .....	141
(ウ) 患者の性別との関係.....	142

(エ) 入院・入院外の別（説明時点）との関係 .....	142
(オ) 入院・入院外の別（検査・治療時点）との関係.....	143
(カ) 急変状態の有無（説明時点）との関係.....	143
(キ) 説明した項目の有無との関係.....	144
(ク) がん患者指導管理料の算定状況との関係 .....	145
(ケ) 説明を受けた患者側人数との関係.....	145
(コ) 補助説明者の人数との関係.....	146
(サ) 同意書の取得の有無との関係.....	148
(シ) 文書・資料による説明との関係 .....	148
(ス) 個別文書・資料による説明との関係.....	149
(セ) 説明準備に要する延べ時間との関係.....	151
(ソ) 直接説明実時間との関係.....	151
(タ) IC 手続後の処理に係る延べ時間との関係 .....	152
(チ) 説明に係る勤務時間外の延べ時間との関係 .....	152
(ツ) 患者の心身の状態（からだの苦痛がある）との関係 .....	153
(テ) 患者の心身の状態（からだの痛みがある）との関係 .....	153
(ト) 患者の心身の状態（気持ちがつらい）との関係.....	154
(ナ) 患者の心身の状態（歩くのが大変だ）との関係.....	154
(二) 患者の心身の状態（身の回りのことをするのに介助が必要だ）との関係 .....	155
(ヌ) 回答者が最後に卒業した学校との関係.....	155
(ネ) 医師の性別との関係.....	156
(ノ) 医師の経験年数との関係.....	156
(ハ) IC 手続き支援ツールの活用との関係.....	157



(ヒ) IC 手続き実施ルールの有無との関係.....	157
(フ) 多変量解析.....	158
3-4. 患者満足度.....	160
(ア) IC 手続項目との関係.....	160
(イ) 患者の年齢との関係.....	162
(ウ) 患者の性別との関係.....	162
(エ) 入院・入院外の別（説明時点）との関係.....	163
(オ) 入院・入院外の別（検査・治療時点）との関係.....	163
(カ) 急変状態の有無（説明時点）との関係.....	164
(キ) 説明した項目の有無との関係.....	164
(ク) がん患者指導管理料の算定状況との関係.....	165
(ケ) 説明を受けた患者側人数との関係.....	165
(コ) 補助説明者の人数との関係.....	166
(サ) 同意書の取得の有無との関係.....	166
(シ) 文書・資料による説明との関係.....	167
(ス) 個別文書・資料による説明との関係.....	167
(セ) 説明準備に要する延べ時間との関係.....	168
(ソ) 直接説明実時間との関係.....	168
(タ) IC 手続後の処理に係る延べ時間との関係.....	180
(チ) 説明に係る勤務時間外の延べ時間との関係.....	180
(ツ) 総合負荷との関係.....	181
(テ) 難易度との関係.....	181
(ト) 患者の心身の状態（からだの苦痛がある）との関係.....	182
(ナ) 患者の心身の状態（からだの痛みがある）との関係.....	182

(二) 患者の心身の状態（気持ちがつらい）との関係.....	183
(ヌ) 患者の心身の状態（歩くのが大変だ）との関係.....	183
(ネ) 患者の心身の状態（身の回りのことをするのに介助が必要だ）との関係 .....	184
(ノ) 治療方針選択に役に立ったか否かとの関係 .....	184
(ハ) 患者の理解度との関係 .....	185
(ヒ) 回答者が最後に卒業した学校との関係.....	185
(フ) 医師の性別との関係.....	186
(ヘ) 医師の経験年数との関係.....	186
(ホ) IC 手続き支援ツールの活用との関係.....	187
(マ) IC 手続き実施ルールの有無との関係.....	187
(ミ) 多変量解析 .....	188